



蔣万安台北市長講演会

(3/18 早慶合同新年会にて)



日台稲門会 ニュースレター4月号 2023年4月10日

日台稲門会会員・会友の皆様

日台稲門会ニュースレター4月号をお届けします。

1. 挨拶 (三村達 会長) 2
 2. 台湾便り 18 台北稲門会より (斎藤征二さん) 2
 3. 経済ニュース (劉彦甫 記者) 5
 4. 最近の台湾関連ニュース 6
 5. 春季講演会 (報告) ≪広谷光紗・崇 (監修 林森北郎) ≫ 10
- 講演者：^{ひととたえ}一青妙さん
6. 【梶山憲一の街歩き台湾】① (梶山憲一幹事長) 12
 7. 3月の入会者 12
 8. 海外での日本人逮捕事件 (橋本紀明) 12
 9. 『台湾検定5級』(台湾の流行に敏感な人向け) 13
 10. 今年度年会費のお願い (川村淳一会計担当) 14

編集後記

1. 挨拶（三村達 会長）

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）も漸く落ち着きを見せてきており、少しずつではありますが世間の動きもかつてのような活動を取り戻しつつあります。日台稲門会も4月8日開催の春季講演会では一青妙さんを講演者にお迎えし「日台関係の未来と台湾アイデンティティ」をお話しいただきました。



2. 台湾便り18 台北稲門会より(斎藤征二さん)

1. 蔣万安台北市長の講演（3月18日早慶合同新年会において）

演題 「台北市の未来」—台北市発展のための今後へのビジョン—
台北市長に当選した蔣万安氏は、早慶合同新年会での講演で以下の課題を解決する意志を示した。



① ビッグドーム建設問題の解決

1992年に着手した4万人収容のビッグドームの工事は、近隣の地盤沈下、モノレール南港線内トンネルの破傷、許可内容と工事状況の違い、ソフトバンク（日本）による買収騒動、そして最近の新型コロナ騒動で工事が大幅に遅れ、完成見込みが立っていないが、私（蔣万安）は、短期、中期、長期の計画で進め、私の任期中（2026年12月まで）に必ず完成させる。

② 大安公園問題

非常に広い森林公園であるが、住民の評判はいまいちである。この問題を解決するため、強い行政能力をもって、住民が親しめる公園を目指す。

③ 交通問題の解決

現状、発展の著しい内湖地区では交通渋滞が激しい。そのため、この問題を解消すべく努力する。私の辞書には「解決出来ない問題など無い」とある。絶対解決する。期待していて欲しい。

④ 弱者対策

台北は豊かになりつつあるが、それでも高齢者、生活困難者へ配慮がまだ十分でない。これを私は全力で支援してゆきたい。

⑤ 出生率を向上

台湾は合計特殊出生率が世界で一番低い。女性が安心して子供を育てられる環境を作り、この問題を改善させる。

⑥ インバウンドの推進

いまや、台湾を知らない海外の人はいない。魅力たっぷりの台湾、台北を世界に PR して、海外から人を引き寄せるビッグイベントを計画している。たとえば、「上海祭り」のようなイベントを参考に進めたいと考えている。現状、上海市との交流は上手く行っている。今後も発展させる。(蒋万安氏が台北市長に当選した際、上海市の幹部がいち早くお祝いに訪れ 蒋万安氏と会談したという経緯がある)

2. 最近のニュースから

①民進党：蔡氏会談に対抗、中国軍が台湾周辺で軍事演習 台湾政府は抗議 (2023 年 4 月 10 日 NEW)

中国軍は 8 日、台湾周辺で 10 日まで軍事演習を行うと発表した。初日の 8 日は駆逐艦や各種戦闘機を動員し、2 日目の 9 日は目標を攻撃する訓練を実施した。台湾の蔡英文総統がマッカーシー米下院議長と会談したことへの対抗措置とみられ、中国軍で台湾方面を管轄する東部戦区は「台湾独立分裂勢力と外部勢力による挑発への嚴重な警告であり、国家の主権と領土の一体性を守るために必要な行動だ」と強調。台湾政府は「台湾海峡の平和を破壊する」と強く抗議し、動向を監視していくとしている。

東部戦区は 8 日朝、中国の短文投稿サイト、微博（ウェイボ）を通じて、台湾を取り囲んでパトロールと軍事演習を行うと発表した。エリアは台湾海峡と台湾の北部と南部、東部の海空域で、同日の軍事演習には海軍の駆逐艦やミサイル艇、空軍の各種戦闘機、ロケット軍の部隊などを動員した。主に制海権と制空権を奪取し、情報戦を制する能力の検証を重点的に行った。9 日は複数の部隊が統一された指揮の下、台湾と周辺海域の重要な目標を正確に攻撃するシミュレーションを実施したと発表。

台湾国防部（国防省）は 8 日、中国軍による軍事演習を受け「高度の警戒を保ち、台湾海峡周辺での軍事動向を監視していく。国家の安全を守る能力と決心、自信がある」と表明。

国防部によると、中国の軍用機延べ 71 機と艦船延べ 9 隻が 9 日午前 6 時までの 24 時間に台湾海峡周辺で活動した。うち戦闘機「殲 10」など延べ 45 機が台湾海峡の暗黙の「休戦ライン」である中間線を越えたり、南西の防空識別圏に進入したりした。国防部は「航空機や艦船などで監視、対応している」と説明した。

また9日正午時点で、中国の軍用機延べ58機と艦船延べ9隻が台湾海峡周辺で活動したと発表した。うち31機が中間線を越え、南西の防空識別圏に進入したりした。

台湾で対中政策を主管する大陸委員会は8日、中国軍による軍事演習に対し「厳しく非難し、抗議する」と表明。「台湾に対する軍事威嚇は台湾海峡および地域の平和と安定を破壊する」と強調した。

台湾の与党、民主進歩党（民進党）は8日午後、中国軍による台湾周辺での軍事演習に厳重に抗議するとともに「中国共産党当局が情勢判断を誤り、理由なく台湾海峡の緊張を高め、兩岸（中台）関係を破壊しないよう要求する」と表明した。

民進党は中国の軍用機が中間線を越えたことなどに関して「地域の平和と安定を破壊するものだ」と非難。一方で「中国共産党軍の挑発に対して『衝突（のリスク）を高めず、紛争を引き起こさない』という原則を守る」と強調した。今回の軍事演習は、国際社会の中国共産党への警戒を強めるだけでなく、台湾人の団結を強めることにもなると指摘。

蔡氏は5日、マッカーシー氏と米ロサンゼルス郊外で会談した。2人は会談後に声明を発表し、米中関係が冷え込む中、台湾と米国の関係を一層強化していく意向を示した。中国は両者の会談を受け「断固反対し、強烈に非難する」と表明し、対抗措置を取ることを示唆していた。

2カ国歴訪後に米国でマッカーシー下院議長と会談した蔡英文総統が7日、専用機で台湾に帰着した。中国共産党に事実上招かれて訪中していた最大野党、国民党の馬英九前総統も同日午後、台湾に戻った。米中対立の激化を背景に、来年1月の総統選に向けた現前総統の闘いも激しさを増しそうだ。蔡氏は北部・桃園国際空港に到着後「米国の超党派の議員が台湾支持を表明した。民主主義パートナーとの友情はさらに固くなった」と成果を強調した。

蔡氏はマッカーシー氏との会談で、中国の軍事圧力に対し一層の連携強化で一致した。蔡氏は「台湾は国際社会で孤独でないことを再確認した」と述べ、米国の台湾支持に謝意を表明。総統選に向け、中国の統一圧力に屈しない与党、民主進歩党の政策をアピールしていく。蔡氏は米ロサンゼルスで随行記者団に、馬氏の一連の発言について「1970年代の論述だ」と指摘して「現在、中華民国（台湾）と中華人民共和国が互いに隷属しないのは明確な事実だ」と強調。「一つの中国」を拒否する姿勢を再確認した。

②国民党：「緊張緩和の努力無駄にするな」前総統台湾に帰着（2023年4月10日 NEW）

中央通信社によると、台湾最大野党、国民党は8日午後「兩岸はできるだけ情勢の緊張を緩和し、平和と安定の追求に最大限努力すべきだ」と強調した。「国民党は、兩岸の交流に影響し、兩岸の平和と地域の安定を傷つけるいかなる行為も見たくない」とした。

また「各方面が兩岸の緊張した情勢を緩和するために努力しており、（こうした努力を）無駄

にするべきではない」とも強調した。

国民党の馬英九前総統は3月27日～4月7日に上海市や江蘇省南京市などを訪問した。国民党政権が1949年に台湾に逃げ込んで以降、総統経験者の中国訪問は初めてで、馬氏は「兩岸が共に努力し、平和を追求し、戦争を回避することを望む」と述べ、台湾と中国の緊張関係が続く中で融和ムードを演出していた。

馬氏は中国で、繰り返し統一の前提となる「一つの中国」の重要性に言及した。江蘇省南京市の「南京大虐殺記念館」を参観した際は「われわれ中国人は外国からの侮辱に抵抗しなければならない」と述べ、中国と歩調を合わせた。政権奪還を目指す国民党は「対中融和で戦争を回避する」との主張を訴えていくとした。

3. 経済ニュース（劉彦甫 記者）

今月の劉彦甫さん（WTA出身、東洋経済新報社記者）の署名記事をご紹介します。



- ① 日銀・植田新体制が始動、直面する課題を総点検
10年ぶりの新総裁は政策修正ができるのか
(東洋経済 4/10)



<https://toyokeizai.net/articles/-/664932>

- ② 報道は「中立」ではなく「独立」が大事である理由
『事実はどこにあるのか』著者の澤康臣氏に聞く(東洋経済 4/9)



<https://toyokeizai.net/articles/-/664685>

- ③ 台湾カリスマ経営者の政界リベンジが起こす波乱
強すぎる親中イメージ、公認の獲得は難しい(東洋経済 4/7)



<https://toyokeizai.net/articles/-/664753>

- ④ 3月に欧米で起きた金融不安とは何だったのか
クレジットアナリストの大橋英敏氏に聞く(東洋経済 4/7)



<https://toyokeizai.net/articles/-/664732>

⑤ 銀行危機でも FRB「利上げ停止」にいたらないワケ
シリコンバレー銀行破綻で揺れる FOMC の行方 (東洋経済 3/21)
<https://toyokeizai.net/articles/-/660822>



⑥ パナソニックは電子部品トップ入りどう目指すか
勝てる事業領域に絞り、人事制度も脱日本型へ (東洋経済 3/16)
<https://toyokeizai.net/articles/-/659935>



⑦ 日経の連載はなぜ台湾から抗議と批判を受けたか
台湾を対立イメージで描くのは時代錯誤なやり方 (東洋経済 3/11)
<https://toyokeizai.net/articles/-/658676>



⑧ パナソニックが経験した車載事業の挫折と復活
売り上げ優先でつまずき、一時は売却候補にも (東洋経済 3/10)
<https://toyokeizai.net/articles/-/658588>



⑨ パナソニック、成熟市場を生き抜く発想の転換
電材、空調、家電のシナジーで継続収入を目指す (東洋経済 3/8)
<https://toyokeizai.net/articles/-/657769>



⑩ パナソニック、「縦割り打破」を試される重要事業
空気ビジネスに残る分断、抵抗感は今なお (東洋経済 3/8)
<https://toyokeizai.net/articles/-/656879>



劉記者の過去の記事一覧 下記サイトを参照

<https://toyokeizai.net/list/author/%E5%8A%89+%E5%BD%A6%E7%94%AB>



4. 最近の台湾関連ニュース

■ 中国軍 台湾周辺で演習 (産経 4/9)

10日まで台湾海峡と台湾の北部、南部、東部の海空域 蔡氏訪米に報復

■ 馬前総統 訪中成果アピール 序列4位 王滬寧氏とは会えず (産経 4/8)

■ 米台、対中連携を強化 蔡総統 米下院議長と会談 (産経 4/7)

蔡総統は共和党のマッカーシー下院議長と会談し、米台連携を強化していく考えで一致した。1979年の米台断交後、米国で台湾総統と米下院議長が会談するのは初めて。

■ 台湾海峡で巡航パトロール 中国、蔡氏の訪米で圧力か (産経 4/6)

中国・福建省の海事当局は5日、台湾海峡で「連合巡航パトロール」を同日から実施すると発表した。

■ 蔡氏、ベリーズ訪問「友好関係は緊密」 (産経 4/4)

■ 蔡総統、米研究所で講演 (産経 4/1)

蔡総統は、中米訪問の経由地としてニューヨークを訪ね、ハドソン研究所で講演した。

「台湾は世界の平和を望んでいる。一方で、戦争を回避する最も良い方法は自らが実力を持つことだ」と強調した。

■ 台湾・馬前総統が訪中 新指導部との会談焦点 (産経 3/29)

馬氏は「兩岸関係改善を期待する」と発言。台湾大手紙記者は、蔡総統の日米欧と接近していることを中国は警戒し、「(蔡氏の訪米直前に馬氏が訪中することで)米台は一枚岩ではないと内外にアピールする狙い」としている。

■ ホンジュラス、台湾と断交 中国と国交 蔡政権で9カ国目 (産経 3/28)

呉外交部長は、南米ホンジュラスが中国と国交樹立交渉をおこなっているため、ホンジュラスとの外交関係を「即日、終了する」と宣言した。中国に傾く理由は「財政難や債務の問題」(レイナ外相) (産経 3/25)

台湾と断交し、中国と国交を結んだ国	
2016年12月	サントメ・プリンシペ (アフリカ)
17年6月	パナマ (中米)
18年5月	ドミニカ共和国 (中米) ブルキナファソ (アフリカ)
8月	エルサルバドル (中米)
19年9月	ソロモン諸島 (南太平洋) キリバス (南太平洋)
21年12月	ニカラグア (中米)
23年3月	ホンジュラス (中米)

(日経 3/27)

台湾と国交のある国一覧 (数字は国交樹立年) (『家族で台湾へ海外移住』より)

【欧州】バチカン市国(1959)、【オセアニア】パラオ(1999)、ツバル(1979)、マーシャル諸島(1998)、ナウル(1990,2005)、【中南米】セントルシア(1984,2007)、グアテマラ(1960)、パラグアイ(1957)、セントビンセントおよびグレナディーン諸島(1981)、ハイチ(1965)、ニカラグア(1962,1990)、ベリーズ(1989)、セントクリストファー・ネーヴィス(1983)、【アフリカ】エスワティニ(1968)

■ チェコ議長 訪台 (産経 3/27)

東欧チェコのアダモバー下院議長が25日、台北に到着。政府関係者や超党派議員、産業界など約160名が同行。立法院での演説に意欲を示した。

■ 米が比北端2基地利用へ 台湾と至近距離 (産経 3/24)

比北端のカガヤン州知事は、米軍が使えるフィリピン国内の軍事基地を4か所に増やすと発表。うち、2か所は同州となる。

■ 日台与党が外交・防衛会合 台北で初の対面 台湾有事に備え (産経 3/22)

■ 蔡総統 29日から中米歴訪し訪米 米下院議長と会談へ (産経 3/22)

蔡総統は、29日から来月7日にグアテマラとベリーズを歴訪する際、経由地の米でマッカーシー下院議長ら要人と会談し、民間シンクタンクで講演する予定。

■ ホンジュラス 中国と国交樹立へ接触開始 (産経 3/17)

中米ホンジュラスの外相は、中国と国交を樹立に向けて接触を開始したと。台湾と外交

関係を持つ中米ガテマラは「台湾が唯一にして真正の中国だ」と強調。

■ 台湾との外交関係模索 ミクロネシア 中国の賄賂攻勢に反発（産経 3/17）

5月に退任するミクロネシアのパニュエロ大統領が関係者に宛てた書簡で、中国が賄賂攻勢などでミクロネシア政府高官を懐柔しようとしていると反発。中国外交官が「米国、日本、オーストラリアといった伝統的な連携から脱却」させる使命を与えられていると指摘。

■ 戦時動員法の波紋（産経 3/15）

台湾当局は今年に入り、「全民防衛動員準備法（全動法）」の改正に着手。野党は戦争準備法だと猛反発。一部メディアも加わり、改正案に集中砲火を浴びせている。争点は、①マスメディア（インターネット含む）の従業員に対し管制を実施する必要があること（33条）、②教育関係者の動員方法は行政院が指定した期間が策定すること（9条）

■ 英、中国「体制上の挑戦」統合レビュー 台湾情勢に警戒感（産経 3/15）

英国のスナク政権は13日、外交・安全保障の政策をまとめた統合レビューを発表。中国を「体制上の挑戦」と表現し、台湾や南シナ海を巡る中国の政策に警戒感を示した。

■ 習氏「台湾統一推進」 全人代閉幕 外部の干渉反対（産経 3/14）

中国全国人民代表大会の第14期第1会議で、習近平国家主席は台湾問題に関して「外部勢力の干渉と『台湾独立』分裂活動に断固反対し、祖国統一のプロセスを確固として推進しなければならない」と表明した。

■ 2027年までに米介入阻止 中国台湾有事へ戦力増強 米報告書（産経 3/10）

ヘインズ国家情報長官は8日、上院情報特別委員会の公聴会で、「中露との戦略的競争はげしさを増している。専制主義の台頭を阻止できるかは今後数年間が極めて重要」と述べ、中露が米国に対抗するため、「戦略的連携を維持する」とし、兵器売却は共同演習など軍事的協力が深まる可能性を示した。

■ 蔡氏訪米報道 中国が米に申し入れ（産経 3/9）

中国外務省の毛寧報道官は、台湾の蔡総統訪米計画の報道に「いかなる形であれ、米台との公的な往来に断固として反対する」と述べ、既に米側に厳正な申し入れを行ったことを明らかにした。

5. 春季講演会 (報告) 《 広谷光紗・崇 (監修 林森北郎) 》

講師：一青妙 (ひととたえ) 演題：「日台関係の未来と台湾アイデンティティ」

2023年4月8日土曜日、日台稲門会春季講演会を早稲田奉仕園リバティホールにおいて開催しました。今回の講演会は、一青妙さんに講師としてお越しいただきました。

一青妙さんはご存知のとおり、作家、女優、歯科医師など様々な方面で活躍されている方で、台湾の名家である基隆・顔家の長男だった台湾人の父と、石川県にルーツを持つ日本人のお母様との間に生まれました。

このようなご自身のルーツを踏まえて、「台湾アイデンティティと日台関係の未来」をテーマにご家族の貴重な写真を交えてお話しいただきました。

私は謎多き父のことを調べる中で1枚の写真を見付けた。台湾大学地質学教室のメンバーが写る集合写真で、欠席者の中に父の名前があったのである。私は、父を知っていると思われる写真の一人一人を訪ねた。その中で、父も二・二八事件に翻弄されて並大抵でない経験を経て日本に密航したことを知った。日本への密航後、父は早稲田大学鉱山学科に入学。1年の3分の2をキャンパスでなく、山で過ごしたようであった。地質学調査の名目でスキーと登山に明け暮れ、しかも無類の酒好きでヘビースモーカー。(一青さんは「最悪ですよ」と微笑みながらも、そこには父親に対する深い愛情が感じられた。)

台湾でやりたいこともできずに日本にやって来て、「自然」に触れることで自身を癒していたのではないかとも思った。

自身のアイデンティティを分からなくなり自暴自棄に陥っていった父を知った時、私は心苦しかった。しかし、この父が遺してくれたものを発見できたからこそ、自分の中に「台湾アイデンティティ」が次第に大きくなっていった。これが父からの「ギフト」だと感じた。

このことがきっかけとなり、父、母を主人公にした本の出版や映画を製作し、さらに“自



分なりの台湾”探しにつなげていった。

現在私が力を入れているのは、自転車を通じて日台をつなぐことである。台湾はものづくり大国で、大手自転車メーカー、GIANT（ジャイアント）も台湾の会社である。ただ、ほんの数年前までは、GIANTを表立って言わなかった。「台湾」というとマイナスイメージがあったからである。それが、今では台湾＝好きというプラスイメージになっており、“台湾”であることがかえって強みになっている。このような変化のきっかけになったのが9・21台湾大地震(1999)と3・11東日本大震災(2011)である。そこから日台間でお互いを支えあう善の循環が生まれたと思う。

これは、友達と一緒に写っている笑顔の父の写真である。亡くなる2か月前に早稲田大学鋤山学科の同窓会に参加した時の写真だが、これを見るたびに私は、慰められた。父は自分が何者であるか迷いながらも、早稲田で学んだというアイデンティティをしっかりと持っていたんだなあと感じられる写真だったからである。

講演会の後はイルデパンにおいて台湾からの留学生12名を含む総勢45名で懇親会を行いました。早稲田大学では4月3日以降、会食の実施が認められ、当会にとっても久しぶりの会食を含む懇親会となりました。一青妙さんを囲んで、食事をしながらお話ししたり、写真を撮ったり。最後は“恒例の”山崎幹事の素晴らしいリードにより校歌を歌って大盛況の中、お開きとなりました。

『台湾アイデンティティは一人一人の中にある』、帰り道、一青妙さんが講演の中でおっしゃっていたことを思い返し、そういえば、私の父が若い頃台湾の方と一緒に仕事をしたことがあると言っていたことをふと思い出しました。今度実家に帰ったときに父に聞いてみようと思います。

最後になりましたが、一青妙さん、大切なご家族のお話をお聞かせいただき、ありがとうございました。（以上）



(懇親会で)

6. 【梶山憲一の街歩き台湾】① 北門の「台湾」 東門の「中国」

梶山幹事長が、The News Lens において『街歩き台湾』と題した連載をスタートさせました。台北市は東路・西路、北路・南路がはっきりしているが、それぞれに歴史を感じる建物があることが分かった。忠孝西路にある

「北門」そして仁愛路・信義路と交差する円環の中央にある「東門」、それぞれがしっかり台北を守る守護神のような感じであったが、北門は南方風の素朴な造りを呈し、東門は中国を象徴するかのような重々しい造りであることを初めて知った。台北の街は深いなあと感じた。次号が楽しみである。

<https://japan.thenewslens.com/article/3545/page2>



←北門

東門→



7. 3月の入会者

- ・ 佐野英夫 さん (1979年 第一文学部卒)

佐野さん、よろしくお願ひします。

8. 海外での日本人逮捕事件

(橋本紀明)

海外駐在員が現地警察に捕まったという話はよく聞く。最近もスパイ容疑で日本人が中国で逮捕された。今から 20 年以上前に南米で刑務所に入ったという商社の人の話を聞いたことがあった。本人は、不正などしていないし、する気もないから容疑を認めないと主張したら半年間刑務所に閉じ込められたようだった。それから間もなくして、私の知り合い

の人も駐在地中東で逮捕されるという事件が起き、私がかわりに行くことになった。産油国は中国と同じ権威主義国のため、駐在員が何気なく（日本にいるような気持ちで）その国の上層部に対しての不満を言い、それが外部に漏れた場合、即、逮捕されることを覚悟しなければいけないと知った。権威主義国では、『怪しきは罰する』という原則が通用するため、にらまれたら最後。まさに『李下に冠を正さず』である。ただ、中国の場合は外交状態が悪いと「事件」が起きるため、個人では注意しようがない。2004年3月末に当時の小泉首相が、中国に対する経済援助をストップすると発表したら、2週間後に上海など大都市で（官製）反日暴動が起こった。私は、中東駐在中、無実の罪で逮捕されても仕方ないと常に意識していた。ただ、それでも難を逃れたいため、『窮鳥懐に入れば狩人もこれを殺さず』を目指し、下手に出た。これがいいとは思わないが、逮捕されるのは自分なのだから、我慢しようと思った。幸い、駐在中、逮捕されることがなかったので、ラッキーだった。振り返って、初めての駐在先だった台湾では、当初、強盗や泥棒こそ覚悟していたが、逮捕されるということは考える必要もなかった。これは幸せなことであった。

9. 『台湾検定5級（台湾の流行に敏感な人向け）』・5点以上で合格

- ① 次のうち日本語由来の言葉はどれでしょう？ (a)黒輪 (b)白目 (c)牽手
- ② 次のうち「男性」はどれでしょう？ (a)小三 (b)小鮮肉 (c)檳榔西施
- ③ 次のうち誰がいちばん「お金持ち」でしょう？ (a)天龍人 (b)月光族 (c)好野人
- ④ 次のうち食べられるものは？ (a)奶鷄 (b)馬殺鷄 (c)鷄婆
- ⑤ 台湾の合計特殊出生率は？ (a)1.15 (b)1.09 (c) 1.07
- ⑥ 『告白気球』で有名な歌手は？ (a)宇宙人 (b)周杰倫 (c)五月天
- ⑦ 台湾で現在活躍中の日系俳優は？ (a)ディーン・フジオカ (b)鈴木亮平 (c)安田顕
- ⑧ 次の映画で一番古いのはどれ？ (a)あの頃、君を追いかけた (b) KANO～1931 海の向こうの甲子園 (c) 海角七号/君想う、国境の南
- ⑨ 台湾女性の平均寿命は？ (a) 86 歳 (b) 88 歳 (c) 85 歳

⑩ 台湾男性の平均寿命は？ (a) 78 歳 (b) 82 歳 (c) 80 歳

5 月は 4 級です (台湾駐在経験のある人むけ)

10. 今年度会費のお願い (川村淳一会計担当)

コロナ禍が終息に向かいつつありますので、2023 年度は稲門会も従来のように活動を広げてゆきたいと思っております。そのため、コロナ自粛期間の年会費は 3000 円でしたが、今年度は従来通りの 5000 円にいたしました。ご理解のほどをお願いいたします。

振込み口座

●銀行振り込みの場合

みずほ銀行 六本木支店 (店番 053)

口座番号：普通預金 4448937

口座名義：日台稲門会

(ニツタイトウモンカイ)

●郵便局振り込みの場合

加入者名：日台稲門会

口座番号：00130-8-69805

郵便局の場合は、通信欄にもお名前の明記をお願いいたします。

ご不明の場合は、下記までお問合せください。

junichi.kawamura.dir@gmail.com (会計担当の川村まで)

編集後記

今月の劉さんの記事でも取り上げているが、2月末から4回にわたって『台湾、知られざる素顔』というタイトルの特集が日経新聞に載った。特に1回目の台湾の退役軍人の9割は退職後に中国に渡り、職を得るというくだりを見て、自分の体験を思い出した。訪日した北京の大学の先生およびその先生から北京語の先生にどうかと紹介された留学生と話し合う機会があった。三人で会話している時、留学生が、「おじいちゃんが戦前、国民党に

属して戦後も大陸に残った」と話した時、それを初めて知った先生は憐れみを示した。その顔は、戦後おじいちゃんはひどい目にあっただろうに、可哀そうという表情だった。それから数年後、台北で知り合いから「昔の友人が大陸から来るが一緒に参加しないか」と誘われた。その方は、国民党の特務として大陸に行ったまま、大陸に留まった人だった。特務に入ったことは知っていたが、ずっと連絡が取れなかったので、みんなは亡くなったと思っていたようだった。しかし、高齢者特例の訪台が許され、50年ぶりの一時帰郷だった。自然と会話が台湾語と日本語に変わっていった。もちろんお互いにその話は一切せず、中学時代の話で盛り上がっていた。同席した中国の奥さんが、何を言っているかわからないと文句を言い始めたため、私にもわかる北京語（日本時代に学生だった人の北京語はわかりやすい）に言葉を変えたが、中国にいる元台湾人と会えるのは、私にとっては貴重だった。新聞特集3回目の中で、中国で働く台商は80万人と言っていた。15年程前には200万人の台商が2000万人の中国人を雇っていると言われていたもので、それと比べるとずいぶん少なくなったなあと思った。ただ、中国は今でも台湾の技術を喉から手が出るほど欲しいのだろうと特集を読んでいて感じた。（橋）

台湾検定5級正解.

① a, ②b, ③c, ④a, ⑤c, ⑥b, ⑦a, ⑧c, ⑨c, ⑩a

- ① (a)が正解。中国語では「ヘイルン」と発音するが、台湾語では「オレン」と発音する「おでん」に由来する言葉。(b)よくわからない状況を意味し、人に使えば「空気を読めない人」といった感じ。(c)「一生連れ添う妻」のこと。動詞で「一生連れ添う」こと。
- ② (b)が正解。若々しいナイスバディのイケメンのこと。(小=若い/鮮=世慣れしてない/肉=ナイスバディ。2010年代半ばから使われるようになった)(a)直訳すれば「かわいい第三者」(?。「二号さん」「愛人」の意。(2010年に放送されたTVドラマ「犀利人妻」から流行りだした言葉)、(c)「ピンロウ売りのセクシーな女性」のこと。(西施は中国・春秋時代の越の国の美女で、美女の代名詞。芭蕉は、松島を楊貴妃に例え健康的な美女。そして象潟(きさかた、秋田)を西施に例え病弱な感じのする美女としている)

- ③ (c) が正解。「お金持ち」を意味する言葉。直接的に言う中国語は「有錢人」。(台湾語の「好額人 (ホォギャアラン)」に由来。旅行会社が広告で「アウトドアが好きな人」の意味に転用しても使った)、(a)「ハイソな人」を意味する。地方の人が「台北に住む人」を揶揄して使う。台北は「天龍國」という。(日本のマンガ「ワンピース」の「天竜人」に由来)、(b)「月給を毎月使ってしまう人」のこと。(長らく庶民は不景気で、月光族は若者に多いとか)、
- ④ (a) が正解。(a)は「ライチ」のこと。台湾語では「ライチ」を「ナイチ」と発音するが、それに中国語発音の字を当てはめたものが「奶鷄」。中国語では「荔枝」と書くのが一般的。(b)「マァサァチ」と発音。「マッサージ」のこと。日本人観光客などが増えた 1980 年代、エッチなマッサージに使った。(今はエッチでなくても使われる・・・?? 普通のマッサージは「按摩」)、
- ⑤ (c) が正解。韓国の特殊出生数がよく話題になるが、実は台湾こそ、合計特殊出生率が世界で一番少ない。(a)はシンガポール、(b)は韓国。昔、陳水扁氏が台北市長になったら天母から台北市内まで朝 2 時間かかると言われた自動車渋滞がバス専用道路建設で解消。合計特殊出生率アップ策を蒋万安市長に期待したい。成功すれば日本もまねできるかもしれない。今月の斎藤さん『台湾便り 18』(P3) 参照
- ⑥ (b) が正解。アメリカで中国の偵察気球が問題になった時、『告白気球』が話題になった。
- ⑦ (a) が正解、*ティーン・フジカ*。最近テレビでみないと思ったら、台湾で活躍していた。
- ⑧ (c) が正解、2008 年。(a)2011、(b)2014
- ⑨ (c) が正解、台湾。(a)韓国、(b)日本
- ⑩ (a) が正解、台湾。(b)日本、(c)韓国